



THE COMMISSION FOR THE SOLIDARITY WITH THE ASIAN UNDERPRIVILEGED
〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館 14階 Tel. 03-3769-4177 Fax. 03-3769-4178 E-mail: info@ngo-csa.jp HP: www.ngo-csa.jp

レポート アジア連帯委員会

第64号

2025年1月

2025年アジア連帯委員会（CSA）年頭のご挨拶

新年おめでとうございます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

アジア連帯委員会（以下CSAと略す）は1981年4月16日に発足し、現在では連合をはじめとする会員団体および個人会員の皆様からのご支援によって活動を継続しています。改めて、今日までの長きにわたるご支援ご協力に心から感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。



会長 澤田和男

現在のCSAを取り巻く情勢について簡単に触れます。

まず昨年元旦に発生した能登半島地震についてです。改めて亡くなられた方々に心から哀悼の意を表するとともに、負傷された方々、被害を受けられた方々に対してお見舞い申し上げます。残念ながら現時点においても復興に向けた取り組みは遅れていると言わざるを得ません。復興に向けた動きが早まることを祈っています。

2022年の2月24日に始まったロシア軍によるウクライナ侵略は依然として続いており、激しい戦闘が続いています。また北朝鮮の兵士派遣や武器供与などが問題視されています。ウクライナ国民の悲惨な状況に終止符を打つべく早期の停戦とロシア軍の撤退を強く望むものです。

2023年10月7日ハマスの奇襲攻撃により多くのイスラエル国民が殺され約240人の人質がとられました。対するイスラエル軍の Hamas 掃討作戦によりガザ地区を中心として多くのパレスチナ民間人に犠牲が出ています。現在の戦闘を早期に終結し全ての人質が解放されることを強く望むものです。

また、世界各地で地球温暖化の影響とみられる大規模な災害が頻発しています。国内においても集中豪雨による大災害などが頻発しました。地球温暖化阻止に向けた世界各国的取り組み強化が求められています。

このように国内外に多くの課題を抱えている状況が続いています。加えて1月にスタートする米国トランプ政権がこれらの事態にどのように対処するのかが注目されています。

CSAはこのような背景を踏まえ、会員組織の皆様と相談しながら活動を進め、昨年9月の定期総会で今後の方針と役員体制を確定しました。まず現在の支援国であるラオスを中心とした現状把握と課題抽出を行い今後の支援の在り方を検討するためCSA代表団を1月下旬に現地へ派遣します。

さらに活動の重点を昨年同様「救援物資」「小学校建設・補修」「教育支援」の事業と位置付けて取り組んでいきます。以下に簡潔に触れますので、それぞれを目的とした募金活動を含めて、ご理解とご協力をお願いします。

1. 救援物資事業

これまで36年にわたり取り組んできた「救援衣類を送る運動」は、費用対効果も踏まえその役割を終えたと判断し終了しました。

現在は現地のコーディネーターと調整しラオス保健省を通じて必要なものを支援する活動

を進めています。今年度も現地で活動している他の国際NGO団体とも連携して取り組みを進めたいと考えています。また、同様の位置づけの下、アジアを対象として保健・衛生面から支援すべく具体的な検討を進めています。

2. 小学校建設・補修事業

ラオスで義務教育を受けられない子供たちがいる状況を少しでも改善するために、1995年以降小学校を建設し寄贈する活動を進めてきました。

直近では会員組織であるUAゼンセンの全面的支援により建設した第26番目校ハッパン村小学校を11月に現地に赴き行政に無事引き渡しました。当日はほとんどの村民が集い盛大な引き渡し式となりました。ご支援いただいた皆様に心から感謝申し上げます。また老朽化した校舎の補修については、現地を視察し優先順位をつけて対処していきます。

3. 教育支援事業

貧困などの事情によって高校進学が困難な生徒のために、寮を建設し生活と学業を支援することにより高等教育への道を拓くため、2002年にルアンパバーンにある優秀校のサンティパーブ高校に学生寮を建設・寄贈し、今日まで支援を継続しています。

卒業した寮生は、総じて優秀な成績で日本への留学も果たすなど国を支えるリーダーとして成長しています。今後もこの支援を続けるとともに、新たな教育支援についても検討していきます。

この3つの主要事業については、現地の状況を踏まえて取り組んでいきます。そしてCSAがこれらの事業を展開するには、連合愛のカンパの支援金と会員からの募金が頼りです。今後とも「救援物資募金」「小学校建設・補修募金」「教育支援募金」へのご協力をよろしくお願いします。

このように私たちの活動は、そこに住み・学んでいる人達にとっては無くてはならないものとなっています。国の将来を担う子供たちを支援し、日本とラオスの友好関係が一層増すように努力していきます。より多くの皆さんに、この活動の内容を知っていただきご協力をいただけるようにしていきますので、本年も従来に増したご支援をよろしくお願いします。

最後に、2025年が皆様にとって良き一年となることを切望し、年頭の挨拶とさせていただきます。

アジア連帯委員会（CSA）会長 澤田 和男

2024年9月から2025年9月の活動計画について

（第44回定期総会報告・議案書より抜粋）

事務局長 山崎 高明

1. 救援物資事業について

救援衣類を送る運動の終了を受け（第27回評議員会確認）、今年度より新たな取り組みを開始します。国際労働財団（JILAF）バンコク事務所、難民を助ける会（AAR）、現

地コーディネーターと連携して、寄贈した小学校や、保健・衛生面が整備されていない地域・施設へサンダル、ハンドソープを届けます。

2. 小学校建設・補修事業について

(1) 小学校校舎建設

第26番目校ハッパン村小学校の引き渡し式（11月）、1年後点検（2025年中）を、UA

ゼンセンと連携し実施します。

※11月25日の引き渡し式の模様は後述します。

また、小学校の運営や環境整備等について、ラオス教育・スポーツ省、ルアンパバーン県教育・スポーツ局と情報共有を図ります。

なお、新小学校建設については、ラオス教育・スポーツ省を中心に関係者らと協議し既存校の検証をしたうえで、今後に向けて準備をします。

(2) 既存校の補修

C S Aが寄贈した小学校で老朽化した個所の補修については、現地からの要望を基に、

優先順位を決めて対応します。

(3) 小学校寄贈団体会員（産別・単組）との連携強化

C S Aがラオスに建設した26校の小学校のうち8校は支援組織からの寄贈校です。継続的に支援団体会員へ補修の提案や協力要請を適時行います。また、特別会計＜学校建設・補修募金＞への積立ての推奨・拡大に取り組めます。

3. 教育支援事業について

(1) 2024年度のサンティパープ高校生寮支援予定額

食費、人件費、学用品、帰省旅費、卒寮関係費などを支援額として計上

合計 \$ 38,750 = 約 ¥ 6,200,000

(為替レート: ¥160/\$)

一人当たりの年間支援額 = ¥ 69,000

(2) 寮の運営に関する支援

① 更新したサンティパープ高校生寮に関する協定書に則り支援を継続します。

② 校長先生や寮監、県教育・スポーツ局と定期的に意見交換を行います。

③ C S Aラオスコーディネーター2名と随時情報共有し、寮生の生活や必要としている物品等の現状把握に努めます。

(3) 寮運営継続支援と自主運営への取り組み
寮の運営支援を継続する一方で、ラオスの関係省庁や学校関係者等と話し合いをし、段階的・計画的に自主的運営を進めます。



コーディネーターヌーソン夫婦来訪



高校生寮へ念願のPC寄贈

4. 募金活動について

事業の継続と充実に向けて、それぞれの事業ごとに下記の募金活動を行います。

(1) 救援物資募金

使途：保健面、衛生面等で必要な物資の調達。今年度はサンダルとハンドソープ

(2) 小学校建設・補修募金

使途：小学校建設、既存校舎の補修整備

(3) 教育支援募金

使途：サンティパープ高校生寮の運営・支援と小学校への教育機材の調達

(4) その他の募金

節目ごとに募金活動を行い、必要と思われる事業の支援に使用します。また、状況に応じてクラウドファンディングを実施します。

5. 2025年ワーキング・スタディ・ツアーの実施について

3つの事業活動の点検、訪問先の人々との交流を通して相互理解を深め、友好親善の輪を広げることを目的にワーキング・スタディ・ツアー（WST）を実施します。

実施時期：2025年1月18日（土）～25日（土）

訪問先：ラオス/教育・スポーツ本省、県教育・スポーツ省、CSA寄贈小学

校、サントィパーブ高校生寮、AAR、在ラオス日本国大使館
タイ/JILAFバンコク事務所、
在タイ日本国大使館

参加者：6組織10名



2024 WST ラオス大使館訪問



2024 WST 小学校訪問

6. CSAの活動強化に向けて

(1) 団体会員や個人会員の拡大

- ① 団体会員や個人会員の着実な増加を目指し、既存会員と連携し積極的に行動します。
- ② 団体会員の労働組合や産別本部、会社事務所を訪問し、CSAの活動報告や意見交換を計画的に実施します。
- ③ 団体会員の機関会議や各種会議で「アジア連帯委員会の活動」の説明機会を増やし、CSA諸事業について理解を広める取り組みを行います。

(2) 広報・宣伝活動の強化

- ① ホームページ、SNSの充実と周知
- ② 「CSAレポート」の作成
- ③ リーフレットの活用

(3) 団体会員への積極的事業報告・情報共有活動

CSA事業の説明や情報共有を目的とし、事務局は団体会員の諸会議等に積極的に対応します。

(4) 連合との連帯強化

- ① 連合メーデー中央大会への出展
- ② 連合「愛のカンパ」を柱とした諸事業の推進
- ③ 連合構成組織への広報活動の展開

(5) 日本定住者団体、学生等との交流

(6) 外務省、国際労働財団、NGO・NPO団体等との情報交換・連携強化

(7) 駐日・在ラオス、駐日・在タイ大使館との連携構築と、駐日・在カンボジア大使館との支援の拡大



常任理事組織との歓談

『C S A第26番目校 ハッパン村小学校引き渡し式』

日時：2024年11月25日（月）10時～13時
会場：ラオス ルアンパバーン県ハッパン村
小学校校庭
参加：U Aゼンセン／永島会長、田中運動
推進局長、俣野国際局長、中村運動
推進局員
C S A／澤田会長、山崎事務局長

次第：イントン建設社長 建設リポート
U Aゼンセン永島会長挨拶、C S A
澤田会長挨拶
県教育・スポーツ局長挨拶、副市長
挨拶
テープカット、感謝状授与、記念品
贈呈、バーシーセレモニー、他



引き渡し式 感謝状授与



引き渡し式 澤田会長挨拶

以上

本年もよろしくお願い致します 役員一同

会 長	澤 田 和 男	アジア連帯委員会
副 会 長	北 野 眞 一	連合 副事務局長
事 務 局 長	山 崎 高 明	アジア連帯委員会
事 務 局 次 長	砂 長 勉	アジア連帯委員会
常 任 理 事	杉 山 寿 英	連合 連帯活動局長
〃	田 中 智	U Aゼンセン 運動推進局長
〃	八 巻 由 美	自治労 総合企画総務局長
〃	秋 元 成	電機連合 事務局次長
〃	木 村 拓 志	J A M 組織グループ グループ長
〃	前 迫 忠 之	基幹労連 事務局次長
〃	寺 澤 環	日教組 国際部長
〃	小 田 嶋 亮	情報労連 運動推進局長
〃	服 部 和 也	連合東京 副事務局長
監 事（会計監査）	斗 内 利 夫	U Aゼンセン 副書記長
〃	粕 谷 強	自動車総連 国際局局长

2025年主要事業・会議

1月18日～25日 ワーキング・スタディ・ツアー
 3月27日 第56回常任理事会、第28回評議員会
 4月26日 連合第96回中央メーデー大会出展
 8月27日 第57回常任理事会
 9月24日 第58回常任理事会、第45回定期総会

募金者名・募金額の報告

期間：2023年12月1日～2024年11月30日

(順不同)

《救援物資募金》

〈団体名〉

I H I 労 連 様	三菱自動車工業労組 様	J A M 北 関 東 様
J A M 様	I H I 労 連 界 支 部 様	日 産 労 組 横 浜 支 部 様
日産労組 本社支部 様	日 産 労 連 様	全 国 ガ ス 労 連 様

団体合計 ￥921,630

〈個人名〉

楮 山 睦 美 様	山 岡 み ゆ き 様	中 澤 信 之 様	鈴 木 隆 様
澤 田 和 男 様	山 崎 高 明 様		

個人合計 ￥31,000

救援物資募金 合計 ￥952,630

《小学校建設・補修募金》

〈団体名〉

U A ゼ ン セ ン 様	三菱自動車工業労組 様	全 九 州 産 業 交 通 労 組 様
J A M 様	日産労組 本社支部 様	シンフォニアテクノロジーグループユニオン 様
基 幹 労 連 様	キャタピラー日本労組 様	J P 労 組 東 京 様
三 八 五 労 組 様	岡山県貨物運送労組 様	

団体合計 ￥13,403,055

〈個人名〉

永 井 武 義 様	廣 瀬 亜 紀 子 様	鈴 木 隆 様	渡 邊 ひ な 子 様
田 口 敬 子 様	中 澤 信 之 様	堀 江 渥 子 様	横 田 泰 文 様
熊 谷 由 美 子 様	澤 田 和 男 様	山 崎 高 明 様	

個人合計 ￥74,223

小学校建設・補修募金 合計 ￥13,477,278

《教育支援募金》

〈団体名〉

U A ゼ ン セ ン 様
J A M 様
UAゼンセン宮城県支部 様

基 幹 労 連 様
印 刷 労 連 様

住 友 重 機 械 労 連 様
日 産 労 組 本 社 支 部 様

団体合計 ￥1,022,777

〈個人名〉

渡 邉 ひ な 子 様
横 田 泰 文 様
鈴 木 隆 様
山 崎 高 明 様

田 口 敬 子 様
永 井 武 義 様
佐 藤 正 行 様

中 澤 信 之 様
熊 谷 由 美 子 様
有 村 利 範 様

相 馬 末 一 様
有 村 利 範 様
澤 田 和 男 様

個人合計 ￥47,000

教育支援募金 合計 ￥1,069,777

募金総合計 ￥15,499,685

ホームページとSNS紹介



HP



X(旧 Twitter)



Facebook

リニューアルしたホームページと昨年より新設したFacebookとX（旧Twitter）にアクセス・友だち登録をお願いします。『心もSNSもCSAとつながりませんか』

下記会員の皆様にも、年会費としてご支援いただきました。

期間：2023年12月1日 ～ 2024年11月30日

(順不同)

〈団体名〉

連合労働組合	アルペン労働組合	U A ゼンセン
U A ゼンセン	カネボウ労働組合連合会	茨城県支部
自治連	キャタピラー日本労組	群馬県支部
電機連	ソラストユニオン	千葉県支部
J A M	フー ド 連 合	東京都支部
基幹労働組	ポケットカードユニオン	栃木県支部
日報教	ホテルラングウッド	U A ゼンセン
情報労働連	モンテローザ労組	U A ゼンセン
I H I 労働連	ルックユニオン	U A ゼンセン
印刷労働組	自動車総連	U A ゼンセン
A N A 労働組	(公財)総評会館	山梨県支部
基金労働組	(株)友愛会館	埼玉県支部
航空連合	J P 労働組 東京	(一社)全国労働金庫協会
交通労働連	(株)コンポーズ・ユニ	(公財)富士社会教育センター
J R 労働組	国税労働組総連合	SMBCコンシューマーファイナンス労組
J P 労働組	三井E & S 労働連	こくみん共済 coop <全労済>
日産労働連	住友重機械労働連	シンフォニアテクノロジー・グループユニオン
森林労働連	全国ガス労働連	セントラル硝子労働組合
生保労働連	全日本海員組合	共済ユニオン 東京千葉
損保労働連	トッパングループ労働連	三菱自動車工業労働組
電力総連	(一財)日本労働会館	三菱重工グループ労働連
ニチイグループ労働組	連合神奈川	中央放送株式会社
	(株) N e t y	東亜道路労働組合
	U A ゼンセン北海道支部	東京交通労働組合
		日本インター・フ・ライズ・メンテナンス(株)
		明治安田生命保険相互会社
		有限会社勤労者旅行会
		連合近畿地方ブロック協議会

団体合計 **¥2,850,000**

〈個人名〉

鳥居徹夫様	永井武義様	渡邊ひな子様	萬家重明様
西澤昇治郎様	山岡みゆき様	河瀬義則様	山河博様
村山義光様	中島徹様	吉野雅彦様	間宮悠紀雄様
田口敬子様	中澤信之様	相馬末一様	堀江渥子様
水野清弘様	横田泰文様	佐藤正行様	筒井克己様
永井武義様	筋 晴彦様	有村利範様	福田美秋様
岩附宏幸様	西村正信様	熊谷由美子様	石崎恵様
大磯扶三彦様	菅原正志様	森 真 人 様	下川まゆみ様
浅山哲也様	鈴 木 隆 様	砂長めぐみ様	黒澤浩枝様
坪口麻美様	長石春彦様	藤田鉄平様	俣野勝敏様
矢 鳴 浩 一 様	澤 田 和 男 様	山 崎 高 明 様	砂 長 勉 様

個人合計 **¥129,000**

会費合計 **¥2,979,000**

募金・会費総合計

¥18,478,685



NGO団体

アジア連帯委員会(C S A)

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館14階

TEL. 03 (3769) 4177 FAX. 03 (3769) 4178

E-メール info@ngo-csa.jp HP www.ngo-csa.jp